

# 第24回 応用薬理シンポジウム

## 趣意書(別刷2版)

令和5年9月16日(土)・17日(日)

ビジョンセンター横浜

神奈川県横浜市西区北幸2-5-15プレミア横浜西ロビル3階

第24回応用薬理シンポジウム

大会長 出雲 信夫

## 第24回 応用薬理シンポジウムへのご寄付のご依頼

謹 啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、令和5年9月16日(土)・17日(日)に第24回応用薬理シンポジウムを横浜(ビジョンセンター横浜)に於いて開催することとなりました。私は大会長の役を仰せ付かり、現在鋭意準備中でございます。応用薬理研究会は、1967年に初代会長の東北大学名誉教授故小澤光先生によって創設され、我が国の創薬研究・健康開発の発展に寄与して参りました。応用薬理シンポジウムは本研究会の年会(総会)として、平成11年よりはじまり、今年は第24回目の開催となります。近年、超高齢化社会を迎えた我が国において、生活習慣病の予防医学や健康寿命の延伸が医療業界において緊急かつ重要な課題となっております。そこで、第24回応用薬理シンポジウムにおきましては、「サステナブル・ヘルスケアの創造」をテーマに掲げ、医薬品に留まることなく、これからの健康・医療を担う機能性食品や健康食品の薬効・安全性を追究する大会にしたいと考えております。また、3年前よりコロナ禍において諸活動が制限され、本学会もオンラインでの開催が続いておりましたが、With コロナにおける感染対策と社会経済活動の両立を果たす時代への突入を受けて、今年は現地開催を主体とし、近代医学の発祥の地である横浜でみなさまをお迎えできるよう準備を進めております。

つきましては、このシンポジウムを成功させるに多くの皆様の多大な御理解と御賛同を得る事が最重要と理解しております。この御時世で誠に申し訳なく存じますが、ご寄付を賜りますよう心よりお願い申し上げます。大変恐縮ではございますが、一口5万円以上でご寄付頂ければ幸いです。また、本学会におけるシンポジウム協賛をご希望される場合は、五口以上のご寄付を賜りますようお願い申し上げます。本学会の趣旨ならびに意義を御理解の上、ご支援・ご協力の程何卒よろしくお願い致します。

末筆ながら、貴社のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

謹 白

令和5年3月吉日

第24回応用薬理シンポジウム

大会長 出雲 信夫

横浜薬科大学薬学部薬物治療学研究室 教授

総合健康メディカル研究センター センター長

## 大会開催要項

1. 会期: 令和5年9月16日(土)・17日(日)
2. 会場: ビジョンセンター横浜  
〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸2-5-15 プレミア横浜西口ビル3階
3. 学会名・大会長:  
第24回応用薬理シンポジウム 大会長 出雲 信夫
4. メインテーマ: 「サステイナブル・ヘルスケアの創造」
5. 予定発表演題:
  - 1) 特別講演 1 演題(予定)
  - 2) シンポジウム 5 演題(予定)
  - 3) 教育講演 1 演題(予定)
  - 4) 一般演題(ポスター発表) 10~20 演題(予定)
6. 予定参加人数: 約80人
7. お申し込みについて  
お申し込み団体・企業の方は別紙の「御寄付申込書」にご記入の上、学会事務局にメール(oyoyakuri24@yok.hamayaku.ac.jp)にてお送りください。
8. 組織委員会  
実行委員長 出雲 信夫(横浜薬科大学薬学部薬物治療学研究室 教授)  
実行委員 渡邊 泰雄(横浜薬科大学総合健康メディカルセンター 代表)  
伊藤 芳久(横浜薬科大学薬学教育センター センター長)  
日塔 武彰(横浜薬科大学薬学部薬物治療学研究室 教授)  
村田 実希郎(横浜薬科大学薬学部薬剤学研究室 教授)  
酒井 佑宜(横浜薬科大学薬学部生薬学研究室 准教授)  
石橋 雪子(横浜薬科大学薬学部薬物解析学研究室 講師)  
長嶋 大地(横浜薬科大学総合健康メディカル研究センター 助教)  
東方 優大(横浜薬科大学薬学部薬物治療学研究室 助手)  
古川 恵(横浜薬科大学薬学教育センター 助手)  
青木 亮憲(横浜薬科大学薬学教育センター 助手)
9. 学会事務局  
〒245-0066 神奈川県横浜市戸塚区俣野町601  
横浜薬科大学薬学部薬物治療学研究室内  
第24回応用薬理シンポジウム 大会長 出雲 信夫  
TEL: 045-859-1300(代表)  
E-mail: oyoyakuri24@yok.hamayaku.ac.jp

10. 開催による効果

応用薬理学の研究者と臨床現場で活躍している医師・薬剤師等が意見交換をすることで基礎と臨床が融合された、新しい応用薬理学への発展が期待されます。

11. 予算書(案)

収入の部

費目	予算額(円)	備考
参加費	180,000	参加費: 5,000 円×30 名 演題登録料:2,000 円×15 名
広告掲載	240,000	広告 50,000 円/頁 30,000 円/半頁
協賛金	1,200,000	一口 50,000 円 シンポジウム協賛:五口以上
懇親会費	250,000	参加費:5,000 円×50 名
計	1,870,000	

支出の部

費目	予算額(円)	備考
会場・設備費	700,000	
印刷費	200,000	抄録集 100 部
ポスターデザイン・ 印刷費	80,000	
ホームページ作成・運営費	100,000	
応用薬理シンポジウム特集号掲載費	7,000	
ランチョンセミナー昼食代	200,000	9/16 2,000/人×50 名 9/17 2,000/人×50 名
消耗品費	43,000	印刷費、通信・郵便代
会議費	200,000	運営打合せ等
人件費	90,000	運営スタッフ弁当代など
懇親会費	250,000	参加費:5,000 円×50 名
計	1,870,000	

振込先 横浜銀行 戸塚支店(店番号 359)  
普通預金 口座番号: 6435657  
名義:第 24 回応用薬理シンポジウム 大会長 出雲 信夫